

クラフトのてびき



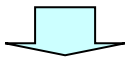
国立大雪青少年交流の家

クラフト実施の流れ

① 種類の決定

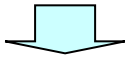
(40人実施の際の所要時間の目安)

- 七宝焼 (1.5~2.5時間程度)
- 焼き板 (1~1.5時間程度)
- プラ板 (0.5~1時間程度)
- アロマキャンドル (1~1.5時間程度)
- 手づくりストラップ (2~3時間程度)
- おがカラーアート (1.5~2.5時間程度)



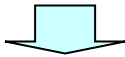
② 申し込み

材料の数を別紙「クラフト申込書」で交流の家に申し込む。



③ 材料を購入

- ・材料は、館内売店「永井商店」で取り扱っています。実施当日までにご購入下さい。
営業時間は、
朝(7:30~9:00)・昼(12:00~13:00)・夕(17:20~19:00)
となっておりますので、ご注意ください。
- ・代金と引き替えになっていますが、振り込みを希望される団体については相談に応じます。

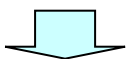


④ クラフト制作

- ・いよいよ制作です。所定の活動場所で制作してください。作り方については、「てびき」をご覧ください。制作に必要な用具は交流の家で準備できます。クラフト館にまとめて置いてありますので、活動場所まで持っていく、終了後は元の場所に戻してください。

※クラフト実施上の留意点

団体内にクラフト指導者がいない場合、事前研修をすることができます。事前にご連絡いただければ、日時等の調整をいたします。



⑤ 後片づけ

- ・床面、机の清掃
- ・ゴミの処理 (本館1階ゴミ置き場に捨ててください)
- ・用具の返却

交流の家から借りた用具は、所定の場所に返却してください。

クラフト館以外の場所で活動した団体は、用具をクラフト館に返却してください。

七宝焼きの作り方

(1) 準備

【交流の家で準備できるもの】 ゆう薬セット、瞬間接着剤、火ばさみ、桶、ヤスリ、手袋、電気炉
新聞紙

【購入していただくもの】 七宝焼本体（ブローチ、スプーン、ペンダントなど）

(2) 作り方

手順	作業内容	留意点
事前に次のことを考えておくと、時間の短縮ができます。 ○ 班編制（5～8名） ○ デザインや配色		
1	用具・材料の確認 ・種類、数量、使い方等の説明をする。	・「七宝ゆう薬」は絵の具と異なり、水を入れても溶けない性質（ガラス質）のものなので、色を混ぜても中間色ができません。 ・電気炉の温度は800℃以上となり、やけどの恐れがあるので特に注意してください。 （必ず耐熱用手袋を着用すること）
2	デザインと配色 ・各自でデザイン、配色を考える。	
3	銅板の裏面処理 ・乳鉢の「裏引きゆう薬」が浸る程度に水を入れる。 ・裏面に「裏引きゆう薬」を平均〔0.5～0.7mm〕の厚みで敷き詰める。 （台紙用厚紙の上で作業する）	・銅板に手の脂がつかないように注意する。 ・水が多すぎたときは、ティッシュペーパーで吸い取る。 ・木ベアでのばす ≪裏引き≫
4	銅板の表面処理 ・デザインと配色にしたがって、「ゆう薬」を使用量だけ小皿に移し、水を浸る程度入れる。 ・表面に「ゆう薬」を全体にむらなく平均〔1mm〕程度の厚みで盛りつける。 （台紙用厚紙の上で作業する）	・水が多すぎたときは、ティッシュペーパーで吸い取る。 ・銅板の厚みぐらいに、平均に盛る。 ≪表盛り≫ ・「ゆう薬」を入れた小皿は洗面器で洗い、沈殿した「ゆう薬」は再利用しますので流さないでください。
5	焼成 ・金網に静かにのせ、炉に入れる。	・火ばさみを使う。 ・温度と時間を確認する。
<焼成終了までの変化> (1) しばらくすると、「ゆう薬」が黒くなる。 (2) しだいに「ゆう薬」が溶けはじめ、表面の凸凹がなくなる。 (3) 表面がなめらかになり、光沢がでる。 (4) すみやかに取り出す。		
6	仕上げ ・金ヤスリで余分な部分を削り仕上げる。 ・瞬間接着剤で銅板を貼りつける。	

※制作終了後は、使用した用具をきれいにして、元の状態に戻してください。

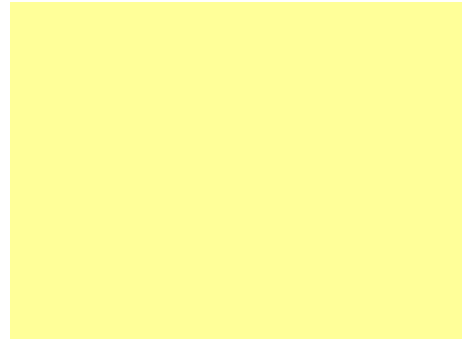
あわせて活動場所の清掃もお願いします。

※クラフト館以外で活動した団体は用具をクラフト館に返却してください。

七宝焼見本



キーホルダー



丸型



ハート型

1個 400円

焼き板の作り方

(1) 準備

【交流の家で準備できるもの】 色付けセット、ポスカ、筆、新聞紙、バーナー、きり、軍手、金ブラシ
チャッカマン、雑巾、タワシ

【購入していただくもの】 板（1枚）、ヒートン（ネジ）（2個）

※ バーナー・軍手・金ブラシ・チャッカマン・雑巾・タワシは、本館1階吹抜けに置いてあります。

(2) 作り方

手順	作業内容	留意点
1	図案を描く ・板を焼いた後の絵や文字などを考えて紙に描く。	・研修室またはクラフト館で行います。
2	焼き板 ・ガスバーナーで板の表面と側面を焼く。	・本館1階吹抜けで行います。 ・火気の取り扱いに注意してください。
3	板みがき ・板の表面に金ブラシをかけてすすを取り除く。 ・再度、タワシでみがき光沢をだす。 ・雑巾で完全にすすを取り除き、黒光りするまでみがく。	・吹抜けの外でみがいてください。 ・板目にそってみがく。 ・ シャッターは、職員が閉めます。終わったら事務室へ連絡してください。
4	絵つけ ・下絵にそって板に絵や文字などを描く	・研修室またはクラフト館で行います。
5	仕上げ ・絵や文字などが完成したら、吊り下げ用のヒートン（ネジ）を取り付ける。	・研修室またはクラフト館で行います。

※制作終了後は、使用した用具をきれいにして、元の状態に戻してください。

あわせて活動場所の清掃もお願いします。

※クラフト館以外で活動した団体は用具をクラフト館に返却してください。

焼き板見本



1枚100円

プラ板キーホルダーの作り方

(1) 準備

【交流の家で準備できるもの】 オープントースター、T字金板、油性マジック、はさみ、ラジオペンチ、ハトメパンチ、軍手、上質紙、新聞紙

【購入していただくもの】 プラスチック板（白色1枚、透明2枚）、プラスチックホルダー（3つ）

(2) 作り方

手順	作業内容	留意点
1	図案を描く ・プラスチック板に絵や文字などを描く。	・油性サインペンを使用するため、必ず新聞紙を敷いてください。
2	カットする ・プラスチック板の縁をはさみで切って形を整える。	・切らずに次に進んでもよい。
3	穴あけ ・プラスチック板にハトメパンチでホルダー取り付け用の穴をあける。	・プラスチック板の縁・角から1cmくらいのところを目処に穴をあける。
4	焼く ・プラスチック板をオープントースターの中の金網にのせてふたをする。 ・プラスチック板が縮み、形が整うまで焼き（5～10秒）、取り出す。 （プラスチック板は約1/6に縮小します）	・オープントースターはあらかじめ加熱しておく。 ・必ず軍手を使用してください。
5	プレスする ・取り出したプラスチック板をすばやく上質紙の上に落とし、その上に上質紙をのせ、T字金板でプレスする。	・プレスする時間は10秒程度です。
6	ホルダーを取り付ける ・プラスチック板にホルダーを取り付ける。	

※制作終了後は、使用した用具をきれいにし、元の状態に戻してください。

あわせて活動場所の清掃もお願いします。

※クラフト館以外で活動した団体は用具をクラフト館に返却してください。

フラ板見本



1セット(フラ板3枚)**で150円**

手づくりストラップの作り方

(1) 準備




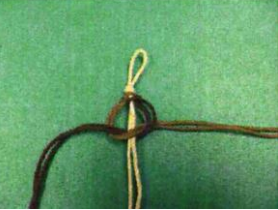
【交流の家で準備できるもの】

ハサミ、セロテープ、

【購入していただくもの】

麻ひも（3色各1本）、ストラップ、木製リング（2個）

(2) 作り方

手順		作業内容	留意点
1		配色を決める。 ・芯1本と結び紐2本を決めます。	
2		・「芯」の中心を結び、結び目の下に「結び紐」2本を結びます。	・ここに載せている編み方は、一例です。他にもいろいろな編み方があります。ご相談ください。
3		・左の紐を芯の上から右側へ、右の紐をその上に置きます。	
4		・右の紐を芯と左の紐の間に下から通して結びます。	
5		・芯を中心に左右の紐を交互に結びます。それを繰り返します。	
2～5の手順を繰り返すとできあがります。			

※制作終了後は、使用した用具をきれいにして、元の状態に戻してください。
あわせて、活動場所の清掃もお願いします。

手づくりストラップ見本



1本150円

アロマキャンドルの作り方

(1) 準備

【交流の家で準備できるもの】 軍手、割り箸、はさみ、クレヨン、カッター、カセットコンロ、カセットボンベ、鍋（大・小）、濡れ雑巾、新聞紙、スクレイパー、ラベンダーオイル

【購入していただくもの】 ロウソク（6本）、銀カップ（2枚）

(2) 作り方

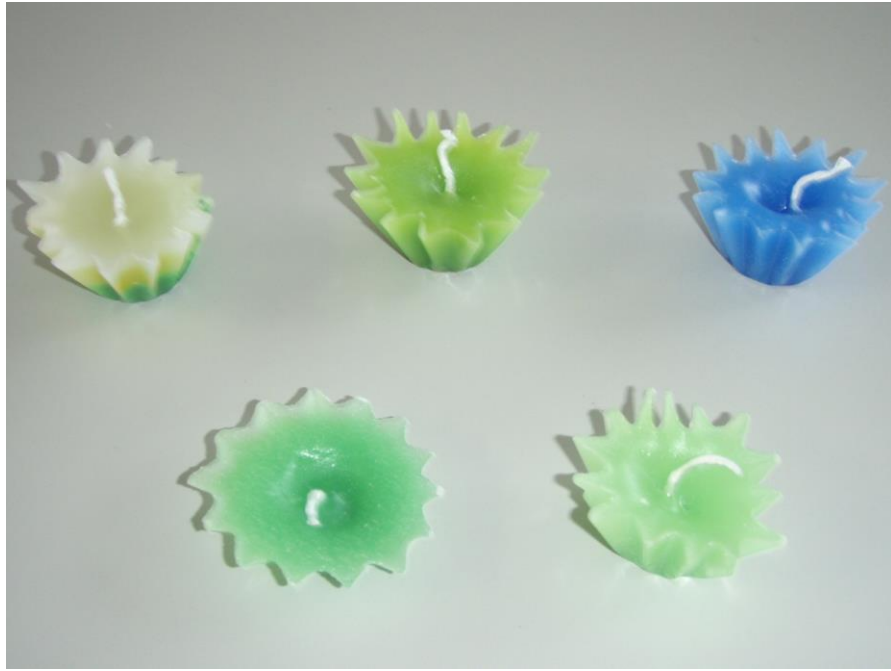
手順	作業内容	留意点
1	説明及び諸注意 ・火を使用することや、ロウが皮膚につくとやけどをすることなど安全面についての諸注意を必ずする。	
2	ロウを溶かす ・小さい鍋にロウソクを入れる。 ・大きい鍋に水を入れて温め、その中に小さい鍋を入れて割り箸でかき混ぜながら溶かす。 ※お湯が減ったら水を足しましょう。	・火を使用するため、やけどなどには十分注意してください。
3	銀カップに流し込む ・好きな色のクレヨンをカッターで削り、銀カップの中に入れる。（たくさん削らなくても良い） ・ラベンダーオイルを1～2回スプレーする。 ・銀カップの中に溶けたロウを流し込む。（クレヨンが溶けにくい場合は、割り箸で混ぜる。） ・ロウソクの芯を爪楊枝に巻き付け、中央にたらすようにおく。	・クレヨンは、少しの量でも色がきれいにつきます。 ・ラベンダーオイルは、ほんの少量でいいです。また、ラベンダーオイルで遊ばないように注意してください。 ・香りが強いので、時々換気をしてください。 ・銀カップは小さいので、倒れないように注意しましょう。
4	冷やして固める ・適当な高さまでロウを入れたら、冷やして固める。 ※ロウは水をはじくため、早く冷やすのに、水をかけたり、タライに水をとり、その中に入れることもできます。	・夏場であれば、ロウを固めるため氷を使用することもできます。（事務室へ申し出てください。） ・好みにより色を何層かに重ねることもできます。その時は、溶けたキャンドルの表面に膜ができ、固まったのを確認したら、さらに別の容器でクレヨンを溶かした色のついたロウを流し込み、何層にも重ねていきます。
5	銀カップをははずす ・ロウが完全に固まったら、銀カップをははずしてキャンドルを取り出す。	・銀カップをつけたまま使用してもかまいません。

※制作終了後は、使用した用具をきれいにして、元の状態に戻してください。

あわせて、活動場所の清掃もお願いします。

※クラフト館以外の場所で活動した団体は道具をクラフト館に返却してください。

アロマキャンドル見本



1セット(キャンドル2個) **100円**

おがカラーアートの作り方

(1) 準備

【交流の家で準備できるもの】 筆、上質紙、ラミネーター、新聞紙、カップ、ボンド、雑巾
ポスターカラーやペン

【購入していただくもの】 おがカラーセット
※セット内容：おがカラー（3g×12色）、ケント紙（10枚）
ラミネーターフィルム（10枚）

(2) 作り方

手順	作業内容	留意点
事前に次のことを考えておくと、時間の短縮ができます。 ○ 班編制（3～5名） ○ デザインや配色		
1	用具・材料の確認 ・種類、数量、使い方等の説明をする。 ・サンプルを見ながら、おがカラーのイメージをつかむ。	
2	下絵を描く ・ケント紙に下絵を描く。	
3	おがカラーで色をつける。 ※以下の作業を一色ずつ行う。 ①色を付けたい部分に、専用ボンドを筆で塗る。 ②色の付いたおがカラーを上からふりかける。 ③色づけした部分に紙をあて、手で押しつける。 ④裏返しにして、余分なおがカラーを落とす。	・おがカラーの色が混じらないように注意してください。
4	繰り返し ・同じ手順で他の場所にも色づけする。	
5	乾燥させる ・15分以上かけてしっかりボンドを乾かします。	※ボンドが乾かないうちに、ラミネートをすると、ラミネーターが故障しますので、注意してください。
6	ラミネート ①乾燥した絵をラミネーターフィルムにセットする。 ※絵は、シール部（フィルムが閉じている側）に突き当ててはさんでください。 ②ほぼ中央部にラミネーターフィルムをシール部側からゆっくり挿入する。 ③ラミネートが終わったら、「電源」スイッチを切る。	・10枚くらいに1度、クリーニング用紙を通してください。 （ボンドやおがくずによる故障防止のため）

※制作終了後は、筆、おがカラー用カップ、ボンド用カップをきれいに洗って、筆は水の入った所定の容器に入れ、その他のものは元の場所、状態にお戻しください。あわせて活動場所の清掃もお願いします。

※クラフト館以外で活動した団体は用具をクラフト館に返却してください。

おがカラーアート見本



1セット(5名分・カード10枚) 800円

クラフト・キャンドル・ファイヤーストーム申込書

平成 年 月 日

団体名 _____

責任者 _____

クラフト物品	実施月日 月 日 必修・荒天時 ←どちらかに○印をつけてください。				
	品 名	単 価	数 量	金 額	備 考
	焼 板	100円			
	プ ラ 板 3 セ ッ ト	150円			
	手 作 り ス ト ラ ッ プ	150円			
	ア ロ マ キ ャ ン ド ル	100円			
	缶 パ ッ ジ	100円			
	お が カ ラ ー ア ー ト	5名分 800円			
	キ ー ホ ル ダ ー	400円			
	携 帯 ス ト ラ ッ プ (丸 型)	400円			
携 帯 ス ト ラ ッ プ (ハ ー ト 型)	400円				

キャンドル	実施月日 月 日 必修・荒天時 ←どちらかに○印をつけてください。				
	品 名	単 価	数 量	金 額	備 考
	1 4 c m (1.5 時 間 程 度)	15円			
	1 0 c m (1 時 間 程 度)	10円			

ファイヤーストーム	実施月日 月 日 実施しなかった場合は、お支払いは不要です。				
	品 名	単 価	数 量	金 額	備 考
	薪8本・たきつけ・灯油・ごみ袋	2,000円			

事前に、交流の家へFAXにてお申込みください (FAX : 0166-94-3223)。

※品名・単価は平成29年4月1日現在のものです。